

【お詫びと訂正】

『超音波検査士になるための攻略問題集 100【循環器】』におきまして、下記の内容に誤りがございました。

読者の皆さまに謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正いたします。

<p. 20 「問題 18」> ※赤字部分

僧帽弁人工弁置換術後で定期通院している患者が、1 週間続く微熱と呼吸困難を主訴に受診したときの心エコー画像である。**正しいものを 2 つ選べ。**

- a 弁輪部膿瘍の可能性は否定できる。
- b 重症僧帽弁狭窄を認める。
- c 肺高血圧症が予想される。
- d 僧帽弁閉鎖不全は必発である。
- e 人工弁は 2 葉の機械弁である。

<p. 106 「解答・解説 18」>

解答 b c

- a 弁輪部膿瘍の可能性は否定できる。
- b 重症僧帽弁狭窄を認める。
- c 肺高血圧症が予想される。
→重症の僧帽弁狭窄を認めており、左房圧上昇による肺高血圧症が予想される。
- d 僧帽弁閉鎖不全は必発である。
→感染性心内膜炎では、逆流が主体となることが多いが、疣贅や炎症による弁可動域の制限により、僧帽弁狭窄を呈することもある。
- e 人工弁は 2 葉の機械弁である。
→人工弁は 3 葉の生体弁が留置されている。
→画像所見では、AS は高度ではなく左房内の描出も良好であることから、生体弁と判断する。
→一般的に機械弁は 2 葉、生体弁は 3 葉のものが用いられる。

<p. 124 「解答・解説 10」> 下から 2 行目

【誤】…

有効逆流弁口面積の 0.13mm² 以上の増加

【正】…

有効逆流弁口面積の 0.13cm² 以上の増加

2026/7/7 更新

以上